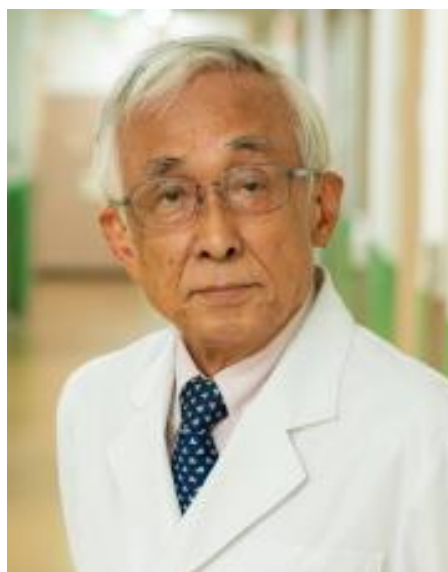




■ここは、日本でいちばん患者が訪れる大人の発達障害診療科■
～大人の発達障害外来の17年～
公益財団法人神経研究所 理事長 加藤進昌先生の講演会を聴講して

10/5 土の午後、烏山区民センターで、91名の方の参加を賜り、盛大に開催された題記講演会につき、全体の流れをおさらいしつつ、お話の中で印象に残った事をご報告させていただきます。

先生は、冒頭に東風(こち)の会の名前について菅原道真の和歌「東風(こち)吹かば 匂い起こせよ梅の花 あるじなしとて春な忘れそ」を引用され、東から吹く珍しい風と発達障害というマイノリティと関連づけて当会に寄せる思いをお話し下さいました。その後、自閉症の子供の名前に変わった名前が多いのは、命名に子供の意図は存在しないので、親にその傾向があるということではないか、今日ここに来られている親御さんの中にも思い当たる方はおられるのでは？との掴みの後、本題に入りました。



まず 2023/2 にプレジデント社から出版された、本講演会の演題と同じ名前の書籍に関し、出版に至る迄のゴーストライターや編集者とのやり取り等、愉快的な裏話をご披露くださいました。その後、昭和40年代に作成されたモノクロの、自閉症療育機関の武蔵野東学園及び東大病院内で撮影された古典的自閉症(カナー型)の子供に関するビデオが流され、典型的なカナー型のお子様数名の遊び方が、定型発達の子供達といかに違うかについて分かりやすく解説くださいました。定型発達の子は、数人集まれば教えなくてもごっこ遊びを始めるが、自閉症の子供はでんでバラバラで一緒に遊ぶということを全くやらないと。自動小銃のオモチャを置いておくと、定型の子は撃つ人、撃たれる人に分かれて、バンバンとごっこ遊びを始めるが、発達の子はプラスチックの塊と見て、カチカチと動く銃口の部分をひたすらイジるみたいな振る舞いをする。変わった子供と言ってしまうとそれまでだが、見方を変えれば、発達障害の子供は、物事の本質を見ているともいえる。実際それは銃ではなく単なるプラスチックの塊なんだからという解説に、彼等の方が本質に従ってピュアに生きている人間なんだと強く共感しました。

次に発達障害が社会的に認知されるまでの歴史についておさらいしてくださいました。1943年にカナーにより自閉症、1944年にアスペルガーにより自閉症精神病質が研究成果とし

て発表されましたが、殆ど注目されることがないまま、その後暫くの間、母親の教育が原因だという趣旨で「母原病」と言われる時代が続きました。

1981年ウイングにより、この説が否定され、自閉症と診断された子供の中に知的に高い子供が相当数いる事が分かり、改めて数十年前のアスペルガーの論文が注目され、アスペルガー症候群という名前と自閉症はスペクトラムのような症状を示すという特性が社会に広まって行きました。

日本では、2000年に発生した豊川市主婦殺人事件で犯人の高校生がアスペルガー症候群という精神鑑定を受け、殺人の理由は「人が死ぬ所を見たかった。対象者は社会的に価値がないお年寄りだから実験台に丁度よかった」と供述した事がマスコミで大きくとりあげられました。発達障害者は危険人物みたいな論調で、名前が世に広まったのは不本意でしたが、実態把握をしないといけないという契機にはなり、2002年文科省が小中学生7万人を対象に調査実施した所、問題児童が全体の6.3%もいる事が判明しました。30人学級だとほぼ2人の勘定です。これは、無視できる比率ではなく、社会として発達障害者を認知し、制度として支援しないとダメだという機運がひろがり、2004年に議員立法で発達障害者支援法が成立しました。今年が成立から丁度20年目になります。

発達障害の診断は難しく、烏山病院で診察を受けた方の60%は発達障害ではないと診断されるそうです。烏山病院では公認心理師が中心となり、2週間の検査入院パッケージ、通称「アスペパック入院サービス」を提供しておられます。要はそこまでしっかり検査しないと確定診断が降りない、愛着障害やパーソナリティ障害という近接症状との見極めが極めて困難である事を強調しておられました。薬については、コンサータはADHDにはかなりの効果があり、患者さんによってはASDにも一定の効果が出る場合もあると。10/3付の朝日新聞に掲載された、ADHDで芥川賞作家である柴崎友香さんの「あらゆることは今起こる」という書籍紹介記事には、柴崎さんが、「コンサータを飲んで生まれて初めて目が覚めた気がする」という感想を書かれているが、そのくらい劇的な効果が1日が出る。もし効果が出なければ、それはADHDという診断が間違いということなので、直ちに服用を止めるのが正解と、講演終了後の参加者からの質問にも答えてくださいました。

トイレ休憩の後、事例の紹介がありました。東大農学部修士課程卒業でASDを持つ男性の方です。発達障害の人は視線に特徴があるという特性を踏まえて、2人で会話している場面のテレビ番組を見てもらい、彼の視線をテストしたら、一定の動きをせずあちこちを無秩序に見ている。一方定型の人に同じ物を見せると、話している人の口元近辺をみる。要は発達の人

視線と会話が一致しないということ。発達障害のお子さんを持つ多くの親御さんが感じる「子供と向き合って話をしている時にどこを見ているかわからない、目の前に座っていても後ろの壁を見ているようだ」という感覚



もそのためと説明がありました。

彼は、全く自分がエリートという意識がなく、障害者就労で専門学校卒の事務職の女性の給料の3分の1以下でも何も気にしない、結婚相手も、知的障害者の女性を選ぶ事に何のためらいもない。今は、診察には知的障害者の奥さんと手を繋いでくるくらい仲がいい。我々からすると夫が東大の院卒で、奥さんが知的障害者って釣り合いとれないのでは？という考えになりがち。これは、所謂「正常化バイアス」に陥ってないか？しっかり反省しないといけないと、ここは特に今日の講演で強く伝えたい点とおっしゃいました。実は、東風の会がやるべきことは、親なき後をどうするか、あーだこーだと議論することではなく、当事者同志の婚活パーティー実施ではないか？との真面目な問いかけには、あながち先生一流のジョークだなど流していい提案には思えませんでした。

その後、2021年6月8日にEテレ「きょうの健康」で放映された「身近な発達障害②」のビデオが流れされました。人の気持ちの推測が苦手、言葉をそのまま受け止めるから人の気持ちを逆撫でして喧嘩になる、こだわりが強くスケジュールが狂うとすぐにパニックになる。こうした特性の根底にあるのは、他者目線で考えられないという気質ではないかというのが、先生のASDに対する見方の総括のように聞こえました。

引き続き烏山病院のデイケアプログラムも紹介してくださいました。全て独自に開発された物で、海外ものの翻訳輸入ではないと。中でもサーズデープログラムは、パニックを起こす人が多い、自閉度が高い人のグループで、こうした特性のある方のプログラムはなかなかないそうです。そして最後に、来年4月に新装オープンする新晴和病院のご紹介がありました。病院という範疇を超え、発達障害者がその特性を活かし、定型発達者の社会で活躍できるよう総合的に支援する包括支援センター的な拠点のように感じました。支援の視点には親子間だけでなく夫婦間も必要というお話しも、発達障害に関する課題を常に広い視野で捉える姿勢を見失ってはいけないという気付きになりました。全体的として、ウィットに富み、理論や知識の無味乾燥な解説でもなく、発達障害者に対する愛情溢れる内容でした。東風の会としては、新晴和病院の家族会活動にお役にたてることがあれば積極的に関与していきたいと思いました。加藤先生、本当にありがとうございました。(K.A)

■ 「烏山東風の会」今後のスケジュール ■

■ 家族相談会 12月18日(水) 1月15日(水) 午後1時30分～午後4時
烏山病院発達障害医療研究所 2F デイルーム (発達障害外来の奥)
専門家ではありませんが、同じ親の立場として家族会世話人がお話を伺います。

■ 烏山東風の会女子会 1月25日(土) 午後1時30分～午後4時
烏山病院 リハビリテーションセンター

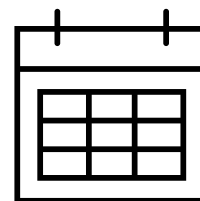
■ 世話人会 12月14日(土) 午後1時30分～

■ しゃべり場 12月14日(土) 午後2時～4時

◇ 相談会/女子会/しゃべり場/世話人会の申し込み・お問合せ先

: 「烏山東風の会」携帯 080-3009-1200 kochinokai@au.com

: 「烏山東風の会」ホームページ: <https://www.kochinokai.com> お問合わせコーナー



■ 会費振込のお願い ■

この会報誌は「烏山東風の会」に入会している方にお配りしています。10月より下半期になりますので、下半期の会費をまだお支払いになっておられない方は半年分3000円を、以下のいずれかの銀行口座にお振り込みいただくようお願い申し上げます。

① 三菱UFJ銀行 永福町支店 (普) 0106550 「烏山東風の会 会計 黒田邦夫」

② ゆうちょ銀行 記号・番号：10000-29576521 「烏山東風の会」

お問い合わせ：黒田邦夫 090-4173-7604



デイケア通信

私はデイケアに今月で通所してから4ヶ月目になります。直近で思い出に残った事は、デイケア向上委員会主催で10月28日(月)に東京都八王子市に所在する高尾山に登ったイベントです。

私自身、正式な登山は小学校の遠足で登った茨城県の筑波山以来だったので当日までは山頂まで行けるのか大変不安でした。向上委員会やデイケアのスタッフの方々の的確な誘導によって登山が始まりました。行きはケーブルカーで清滝駅から高尾山駅まで行き、順路はスタンダードな1号路で山頂を目指しました。山道は前日までの雨の影響で水分が多く、登りにくかったですが、とても空気が澄んでいて都区部と違った味わいがありました。山頂ではおにぎりを食べ、下山に向けての英気を養いました。下山してからは霧がなくなり、途中の真言宗智山派薬王院にて東京都心の東京スカイツリーや房総半島が眺望出来ました。

私はケーブルカーを使わずに向上委員やデイケアスタッフと共に1号路で下山し、上りの時よりも山道が階段状できついところもありましたが、何とか下山しました。今回の登山で筋肉痛になり普段運動していないことに気付かされました。筋肉痛にならないように今後継続して散歩等の運動をしようと思います。今後、このようなイベントにおいてデイケアのメンバーやスタッフ方々との親睦、交流を深めていけたらいいなと思いました。(I.T)



高尾登山電鉄ケーブルカー



薬王院付近から見た東京都心方面



1号路下山途中の一行